

安全衛生優良事業場等に対する長崎労働局長表彰を行いました

長崎労働局（局長 小城 英樹）は、10月13日（木）に令和4年度の「安全衛生にかかる優良事業場等に対する長崎労働局長表彰」の受賞者である事業場2社及び個人2名に対する表彰式を行いました。

本表彰は、安全衛生成績が優秀で他の模範と認められる優良事業場又は個人等に対し、長崎労働局長が表彰を行い、その努力をたたえ、一層の安全衛生意識の高揚を図るものです。本年度の受賞者は以下のとおりで、表彰の理由、取組の内容については、別紙のとおりです。

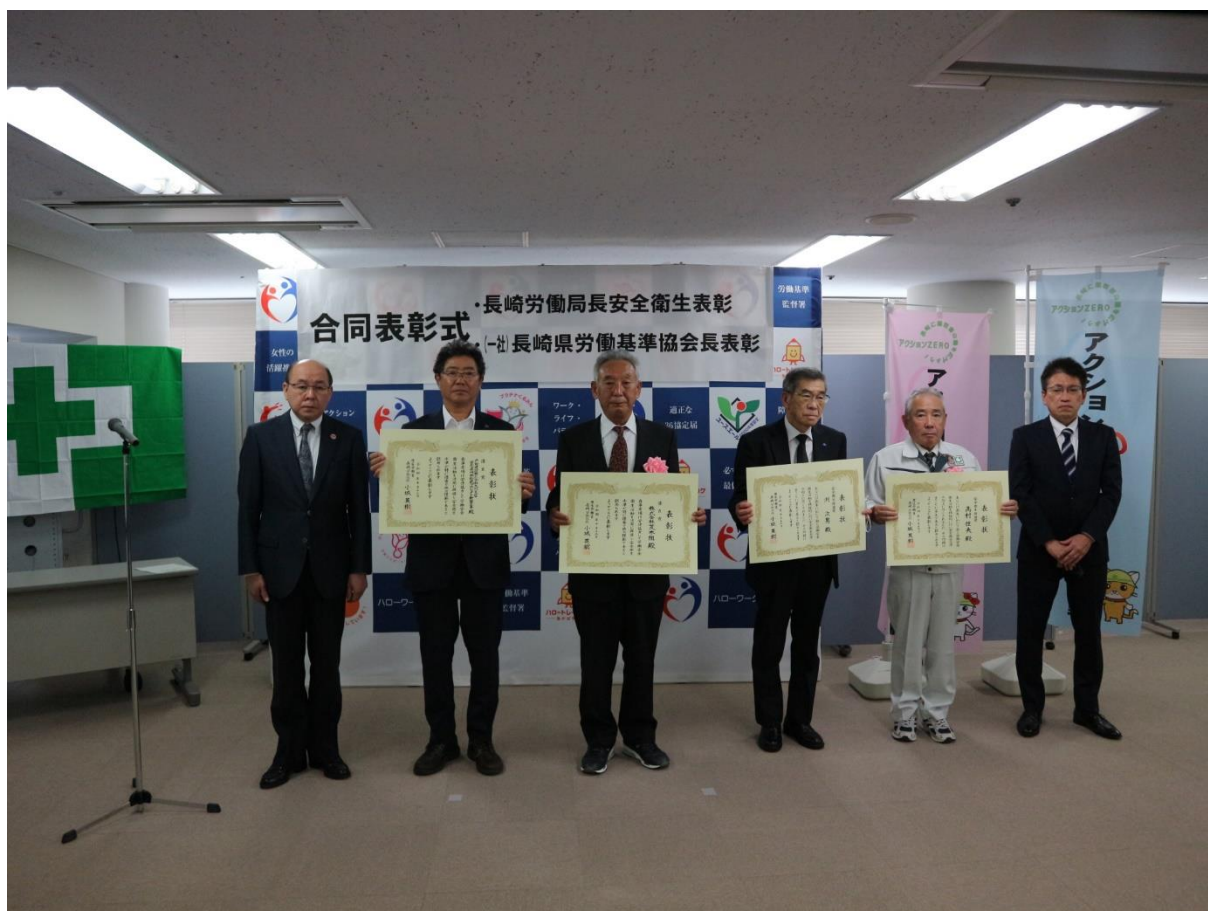
令和4年度長崎労働局長安全衛生表彰受賞者

優良賞

戸田建設株式会社九州支店
（仮称）長崎御船蔵プロジェクト新築工事
株式会社荒木組

安全衛生推進賞

渕 次男 氏
高村 住夫 氏



（写真左から 小城労働局長、戸田建設株式会社 松本様、株式会社荒木組 荒木様、渕様、高村様、俵健康安全課長）

<長崎労働局長表彰式のフोटレポート>

【長崎労働局長あいさつ】



【表彰状授与（戸田建設株式会社 松本様）】



【表彰状授与（株式会社荒木組 荒木様）】



【表彰状授与（洵様）】



【表彰状授与（高村様）】



令和4年度 長崎労働局長表彰事業場等名簿

1 優良賞（安全確保対策）

事業場名・所在地・業種	受賞理由
戸田建設株式会社九州支店 （仮称）長崎御船蔵プロジェクト 新築工事 （長崎市御船蔵町1-1） 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	令和3年3月1日の着工から、令和4年8月5日の竣工に至るまで、約17か月（157, 112時間）休業災害が発生していないこと。 統括安全衛生責任者を中心に、作業所の安全衛生管理計画書を作成し、重点管理項目及び点検項目等に基づき、安全衛生管理の推進を図っていること。 元請、関係請負人、店社及び発注者が、それぞれの目線で災害防止にかかるパトロールを定期的実施し、作業上の危険の芽を摘み取るよう尽力していること。 鉄骨の建方作業等の危険作業について、着工前に施工計画書及び作業手順書にかかる事前検討会を開催し、検討事項のフォローアップを行っていること。 以上のこと等から、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められるため。
株式会社荒木組 （諫早市小船越町2-3） 土木工事業	平成15年9月を最後に、約19年間（167, 904時間）労働災害が発生していないこと。 事業場の代表者が安全管理の基本方針を表明して労働者に示し、労働者の安全と健康の確保を率先して取り組んでいること。 安全衛生管理活動において、毎月現場パトロールを行い、指示事項にかかる改善状況を写真等で確認して結果を取りまとめ、各現場に水平展開が行われている等注意喚起を図っていること。 協力業者を含んだ安全大会を毎年実施し、代表者自ら各現場のパトロールに赴き、現場を把握した上で表彰を行っている等安全衛生活動が徹底され、関係請負人も含め労働者の安全衛生意識の向上を図っていること。 労働安全コンサルタントに委託し、現場パトロールや安全大会での講話を行い、労働者の安全衛生に対する意識付けを図っていること。 店社において各作業にかかるリスクアセスメントを行い、リスク低減措置を図り、また、各現場では、現場での作業に見合ったリスクアセスメントを検討して実施している等災害防止対策の措置を講じていること。 店社の安全衛生推進者が各現場の災害防止協議会に出席し、作業者全員での安全衛生対策等について協議している等労働災害防止の徹底を図っていること。 各現場において飲料水、熱中症飴、WBGT指数計等を備え付けており、労働者には空調服を配付する等熱中症予防対策を図っていること。 アクションゼロ長崎ゼロ災運動に店社及び現場とも参加し、労働災害防止にかかる意識の向上等自主的な安全衛生活動を推進していること。 以上のこと等から、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められるため。

2 安全衛生推進賞

氏名・所属	受賞理由
淵 次男（ふち つぎお） 元 株式会社興研 長崎駐在員事務所 顧問	昭和46年9月に三菱重工業株式会社長崎造船所に入社後、構内協力会社に対する日々の安全パトロールの実施、自社や構内協力会社が実施する全国安全週間説明会や全国労働衛生説明会に参加し、講師として安全講話を定期的に行うほか、協力会社に対する新規入場者教育を毎週実施し、災害事例の再発防止対策の検討、自社内における「安全衛生の心得」の作成など、平成19年9月退職までの約36年間にわたり自社及び構内協力会社の労働者に対する安全衛生の指導に尽力してきたこと。なお、当時の三菱重工業株式会社長崎造船所における作業員数は香焼地区、飽の浦地区合わせて自社が3,000名以上、構内協力会社が30,000名以上であった。 平成19年10月に興研株式会社に入社後は、呼吸用保護具の営業を兼ねて九州、四国等の造船会社に対し、労働衛生教育及び法改正の周知等を行ったこと。 以上のこと等から、地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした者と認められるため。
高村 住夫（たかむら すみお） 建設業労働災害防止協会 長崎県支部 建設安全統括指導者	昭和47年に株式会社三基に入社し、各工事現場の工事主任、現場代理人、作業所長として、工事の品質、工程、安全管理等を27年間行った経験を活かし、安全対策室に配属された後、自社の安全管理、作業員への安全教育を行ったこと。 平成15年から建災防長崎分会の安全指導者に委嘱され、分会所属事業場の安全衛生向上のため、安全パトロール等に取り組んできたこと。 平成20年1月から平成21年12月まで、長崎労働局労災防止指導員として労働災害防止活動に努めたこと。 平成29年から建災防長崎県支部の建設安全統括指導者として、安全指導者の指導・支援を行い、平成30年からは建災防長崎県支部講師として、建設従事者への教育にも携わっていること。 以上のこと等から、地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした者と認められるため。